

エーハイム プロフェッショナル3 2080/2075/2073/2071

目次

- 2/3 — 保証書のご確認を
安全にお使いいただくために
- 4 — 2080 本製品の特徴／製品仕様
- 5 — 2080 内部模式図／推奨ろ材について
- 6 — 2080 各部の名称
- 7 — 2080 パッケージの中をご確認ください。
- 8 — 2080 セットの手順、点検・お手入れ
- 13 — 2080 主要部品図
- 14 — 2075 / 2073 / 2071
本製品の特徴／製品仕様
- 15 — 2075 / 2073 / 2071
内部模式図／設置場所／セット時のご注意
- 16 — 2075 / 2073 / 2071 各部の名称
- 17 — 2075 / 2073 / 2071
パッケージの中をご確認ください。
- 18 — エーハイム バイオメックとメックプロのご紹介
2075 / 2073 / 2071
セットの手順、点検・お手入れ
- 25 — 2075 / 2073 / 2071 主要部品図
- 26 — 2080 / 2075 / 2073 / 2071
共通 故障かな?と思ったら
- 28 — 2080 / 2075 / 2073 / 2071
共通 アクセサリー表



※2071 (2071330) は2009年春の発売予定です。

- このたびは、エーハイム プロフェッショナル3 シリーズをお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
- 正しく安全にお使いいただくために、十分に理解してからご使用下さい。
お読みになった後は保存し、必要な時にお読み下さい。
- 本製品には保証書がついています。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管して下さい。
- P2/3の「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

保証書のご確認を

お買上げ日、販売店様の名称、住所、電話番号が記入されているか、必ずご確認ください。

万一故障した場合には、下記に記載の内容で無料で修理・調整致します。

お買上げの日より保証期間内に故障が発生した場合は、お買上げの販売店に保証書を添えてご相談下さい。

無料修理規定

- 保証期間内に取扱説明書、貼付シールなどの注意書にしたがった使用状態で故障した場合には、無料で修理・調整致します。
- 保証期間内無料修理の場合、お買上げの販売店に保証書を添えてご依頼下さい。
- ご転居等でお近くにエーハイム商品取扱店が無い場合には、弊社エーハイム サービスセンターにご相談下さい。
- 保証期間内でも、次の場合は有料となります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書にお買上げの年月日、販売店名等の記入がない場合。
あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器や器具等から受けた損害。
 - 不当な修理や改造による故障または損傷。
 - 異常電圧を含む電源不適合。
 - お買上げ後の移動、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷など天災地変による故障または損傷。
 - 飼育動物による故障または損傷。
 - 観賞魚水槽以外でのご使用による故障及び損傷。
 - 付属品などの消耗による交換。
(インペラー、スピンドル、各種Oリング、ホースアダプター、EZクリップ等)
- 保証書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
尚、本書ならびに保証書の発行によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間及び保証適用外での修理は有料です。ご不明な場合、お買上げ店または弊社エーハイム サービスセンターにご相談下さい。

安全にお使いいただくために

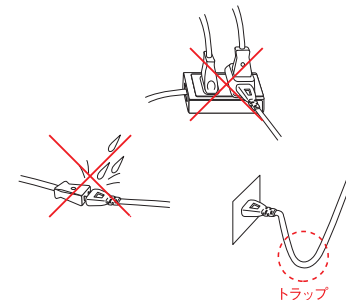
ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。誤ってご使用された場合の保証および事故については、弊社では責任を負いかねますので予めご了承下さい。

⚠ 注意

火災・漏電事故などを避けるためにお守り下さい。

- 電源コードやプラグを加工したり、ご使用時にたばねたり、柱に打ちつけたりしないで下さい。決して痛んだまま使わないで下さい。電源コードの交換は構造上不可能です。

- 電源はAC100ボルトの専用コンセントをお使い下さい。
- タコ足配線やテーブルタップ(延長コード)の使用は避けて下さい。
- コンセントやプラグ、コードに埃(ほこり)が被らないようにして下さい。
- プラグを差し込むときは、隙間が出来ないように、しっかり押し込んで下さい。
- 水滴や飛沫がプラグやコンセントを濡らさないようご注意下さい。
- 痛んだコードは、湿気や水濡れにより火災をおこす恐れがあります。
- プラグの刃の部分、刃と刃の間の汚れは定期的に取り除いて下さい。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。
- 引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くで使用しないで下さい。
- 水槽より低い位置でコンセントを使用する場合は、水切り用トラップ(右図)を設けて下さい。



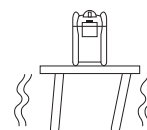
本製品は磁界を発生させるため、磁気媒体をはじめとした磁気の影響を受ける機器は近づけないで下さい。また、ペースメーカーをはじめとする磁気の影響を受ける可能性のある医療機器や精密機器をご使用の場合は、それらの機器類の取り扱い説明書に記載された安全距離を必ず保つようして下さい。



- ⚡ 水の中に手を入れる時は必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。

エーハイムによる事故や故障を避けるためにお守り下さい。

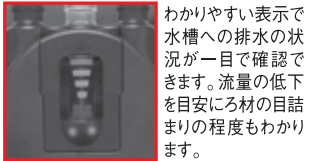
- エーハイムは水面より低い位置にあることと同時に、エーハイムの底と水槽水面との高低差が最大180cm以内になるようにセットして下さい。
- 定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いで下さい。エーハイムは水冷式モーターですので、汚れや目詰まりなどは大敵です。特にモーター内部駆動部分の掃除や取付けたスポンジ類の掃除は忘れがちです。本書に従って定期的を実施して下さい。
- 各部に使用されているOリングは、いずれも経年劣化しますので劣化が認められたら交換してください。Oリングが劣化したまま使用すると水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ろ材は各フィルター専用の各種パッド類と、エーハイムサブストラットプロレギュラーとエーハイムメックをお使い下さい。またろ材は入れ過ぎないで下さい。
- 弱った魚や小さな魚などが水槽のガラス壁とパイプあるいはストレーナーの間にはさまれる場合がありますので予めご注意下さい。
- エーハイムを空運転させないで下さい。故障の原因となります。
- ホースは専用ホースを使い、折れ曲がったり、たるんだりしないように正しく取付けて下さい。
- エーハイムを運転する前に接続部が正しく取付けられ、水漏れや停滞や逆流がないかをよく確認して下さい。
- 本器は日本仕様として製造されています。国内でのみお使い下さい。
- フィルターの目詰まり、故障に備えて、エアポンプによるエアレーションの併用、または補助フィルターを併用して下さい。
- 本器は屋内専用です。また屋内であっても高温になったり、凍ったりするような場所に設置しないで下さい。
- 強度のしっかりした安定した場所に正しく設置して下さい。また、漏水などの時、大変危険ですのでテレビやステレオ、パソコンなど電気製品の周囲に絶対に置かないで下さい。
- エーハイムは梱包など万全を期しておりますが、ご使用になられる前に必ず破損など異常がないかをチェックして下さい。破損などが見つかった場合は御使用なさらずにお買い上げ店にお申し出下さい。
- 適合水槽は魚の数、環境によって異なります。海水魚、大型魚などを飼育する場合は、他フィルターの併用か匹数を調整して下さい。
- 稚魚・小型魚がストレーナー部の吸い込み口より小さい場合、吸い込まれることがあります。スポンジプレフィルターを必ずご使用下さい。
- 設置場所によってはクッションラバーの跡や移動用キャスターのタイヤマークが残る場合がございます。ご確認ください。
- 本製品は品質向上等の為、おことわりなく仕様を変更する場合がありますので予めご了承下さい。



エーハイム製品のお取り扱い方法・お手入れ方法・修理その他ご不明な点は、機種名をご確認の上、お買上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

2080 本製品の特徴／製品仕様

【流量インディケーター】



わかりやすい表示で水槽への排水の状況が一目で確認できます。流量の低下を目安にろ材の目詰まりの程度もわかります。

【呼び水レバー】



呼び水レバーを押すことにより、フィルターケース内に呼び水をすることができます。

【移動用キャスター】



本体底部の前後に装備されています。フィルター本体が垂直な状態では機能しませんが、本体を斜めにする事で前進後退が軽々。

【ポンプヘッド固定用クリップ】



従来のものに比べてクリップ本体が大きくなり、ロック操作が容易になりました。

【プレフィルターコンテナ】



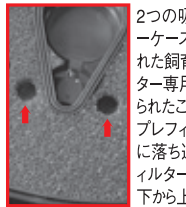
フィルターケースにセットされたろ材コンテナ最上部がプレフィルターコンテナなので、小規模な掃除の際にはプレフィルターコンテナだけを簡単に取り出せます。
(P5水流の模式図参照)

【プレフィルターコンテナ移動用トレイ】



小規模な掃除の際、プレフィルターコンテナをこのトレイに入れて持ち運べば、お部屋の中に水滴を垂らしたりせずにすみます。トレイは別に保管してください。

【吸水受け入れ孔】



2つの吸水口からフィルターケース内に導かれた「汚れた飼育水」は、プレフィルター専用粗目バッドに開けられたこの孔から、いったんプレフィルターコンテナ底に落ち込み、続いてプレフィルター専用粗目バッドを下から上へと透過します。

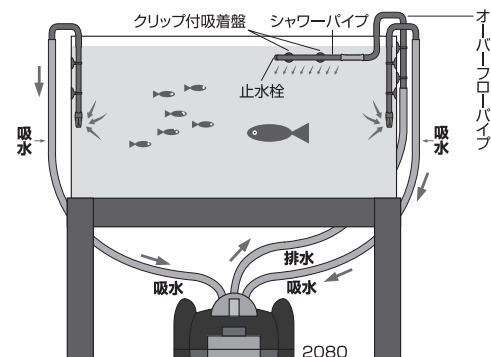
【パーティションパイプ入水口】



プレフィルター専用粗目バッドを透過して、まずは粗いゴミを濾し取られた「汚れた飼育水」は、ここからフィルターケース最下部へと導かれます。

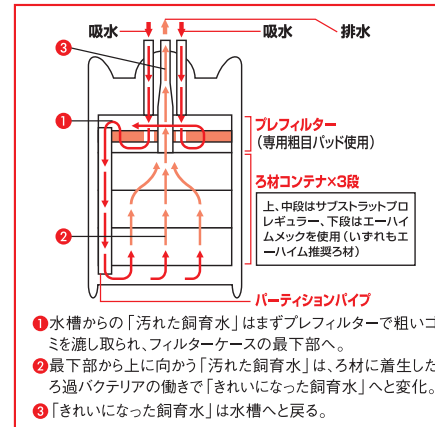
【2つの吸水パイプ】

吸水は2ヶ所の吸水パイプより。大型水槽の左右に吸水パイプをセットして、効率の良い水流が作れます。



4

2080 内部模式図／推奨ろ材について



従来の外部式フィルターでは、すべてのろ材を取り出してから掃除を行っていました。

ところが**エーハイム プロフェッショナル3 2080**では、これまでの外部式フィルターとは異なり、フィルターケースの最上部にプレフィルターがセットされています。そのため、他のろ材には手を付けることなく、プレフィルターだけを簡単に取り出して洗浄することができます。

このように、エーハイム 2080ではプレフィルターでゴミを取り除くため、大きなゴミが直接ろ材へ進入することを防ぎ、ろ材の掃除 (メンテナンス) のインターバルが長くなります。

プロフェッショナル3 2080 推奨ろ材について

プロフェッショナル3 2080には、高性能ろ材「エーハイムサブストラットプロ」「エーハイムメック」の使用をお勧めいたします。エーハイムサブストラットプロ&エーハイムメックは、外部式フィルターに最適な高性能ろ材として皆様から高い評価を得ています。

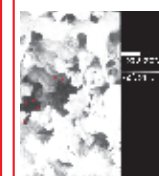
	品名	直径	1段あたりの表面積	機能	特徴	使用上の一言アドバイス
推奨ろ材のご紹介	サブストラットプロレギュラー	6~11 mm	450 m ² /ℓ	外部式フィルター内の「中間部分」のろ材に最適。	汎用性が高く、生物ろ過と物理ろ過の両方をこなすには最適な万能サイズ。	熱帯魚、金魚、海水魚など、一般的なあらゆる魚種の生物ろ過兼物理ろ過用として最適なサイズ。外部式フィルターだけでなく上部ろ過槽や別置き式ろ過槽用としても活用可能。
	エーハイムメック	9~12 mm 長さ 9~13 mm	3.6 m ² /ℓ	外部式フィルター内の「初期部分」のろ材に最適。	高品質セラミックで造られているため洗ってもくずれず、モーターやインペラーの故障の原因となる粉を大量に発生させません。	すべての魚種の飼育の際、外部式フィルターの初期部分に使用すれば、物理ろ材として大きめのゴミをからめ取るだけでなく、細かく万遍な水流を作り効果的な生物ろ過 (ゴミとり) を行ないます。

サブストラットプロの2大特徴

驚くべき多孔質構造

写真はエーハイムサブストラットプロに空気を送り込んだところです。細かい気泡がたくさん生じていますが、空気がよく通るということは、エーハイムサブストラットプロが多孔質であることの証拠です。このようにエーハイムサブストラットプロは通気性に優れていますが、これは通水性にも優れているということであり、ろ過バクテリアがコロニーを形成するのに最適な条件となっていることがわかります。

ろ過バクテリアの着生に最適!!



ろ過バクテリアであるニトロソモナスやニトロバクテリアのサイズです。

写真はエーハイムサブストラットプロの表面を顕微鏡拡大したものです。ところどころに赤い印が付いていますが、これがろ過バクテリアであるニトロソモナスとニトロバクテリアののびのびとした大きさです。このように、エーハイムサブストラットプロの表面に開いた孔は、ろ過バクテリアが着生してコロニーを形成し、育成してゆくのに最適な環境を提供します。

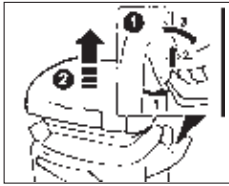
5

機種	エーハイム プロフェッショナル3 2080	
	50Hz	60Hz
エーハイムコード	2080291	2080411
流量	1950ℓ/h	1950ℓ/h
最大揚程	2.35m	2.35m
定格電圧	100V (ヘルツ別)	
消費電力	25W	25W
ホース径	吸・排水ともに 16/22mm	
ろ過槽	25リットル	
ろ材コンテナ	4リットル×3個 1.5リットル×1個 (プレフィルター)	
付属ろ材	プレフィルター用粗目バッド 細目バッド	
本体寸法 (mm)	330×330×567 (H)	
対象水槽	90 cm (約160ℓ) 以上	
用途	淡水・海水両用	

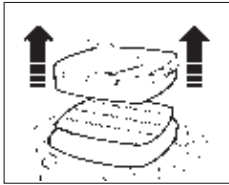
2080 セットの手順、点検・お手入れ

I ろ材のセット／モーターヘッドの装着 ※文中の使用ろ材はエーハイム推奨ろ材でのご案内になります

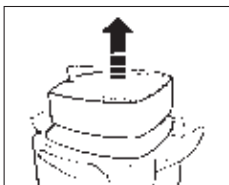
1 フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを図中の手順で解除し、モーターヘッドを取り外します。



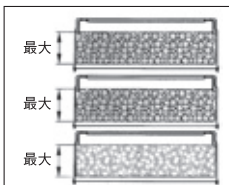
2 フィルターケースの中から、プレフィルターコンテナ、ろ材固定板、細目フィルターパッド(白)を取り出します。



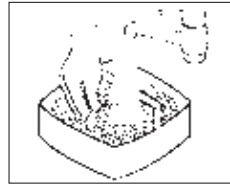
3 フィルターケースの中から、3つのろ材コンテナを全部取り出します。ろ材コンテナには引き出し式の手持ち用ハンドルが付いているので、これを使うようにして下さい。



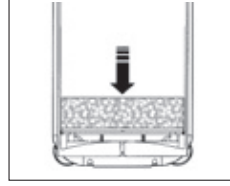
4 3つのろ材コンテナそれぞれにろ材を入れます。フィルターケースのいちばん下に入るろ材コンテナにはエーハイムメックを、残りの2つのろ材コンテナにはサブストラットプロ レギュラーを入れて下さい。なお、手持ち用ハンドルが収納できないほど多量のろ材をろ材コンテナに入れてはいけません。適量を入れるようにして下さい。おおよその目安として、サブストラットプロ レギュラー7ℓ、エーハイムメック3.5ℓをご用意下さい。



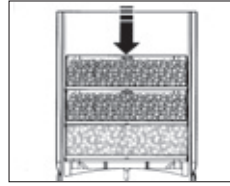
5 ろ材コンテナにろ材を入れたら、流水で濁り水が出なくなるまで十分に洗浄します。



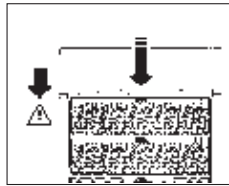
6 フィルターケースのいちばん下にエーハイムメックが入ったろ材コンテナを入れます。ろ材コンテナのハンドルは降ろして下さい。



7 エーハイムメックが入ったろ材コンテナの上に、サブストラットプロ レギュラーが入ったろ材コンテナを2つ続けて入れます。ろ材コンテナのハンドルは降ろして下さい。



8 いちばん上のろ材コンテナの上に細目フィルターパッド(白)を敷き、その上にさらにろ材固定盤を載せます。このとき、ろ材コンテナの手持ち用ハンドルがきっちり収納されていることを確認して下さい。

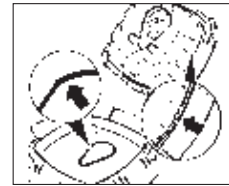


△ 細目フィルターパッド(白)は、必ず一番上のろ材コンテナ(ハンドルを下げた状態)のハンドル上に載せて下さい。

9 フィルターケースに粗目フィルターパッド(青)を入れたプレフィルターコンテナを入れます。このとき、プレフィルターコンテナとパーティションパイプがしっかり接続(矢印部分)されているか確認して下さい。



10 フィルターケースにモーターヘッドを装着します。このとき、2箇所(矢印部分)によじれないか、異物がひっかかったり挟まったりしていないか、などをよくチェックし、モーターヘッドとフィルターケースがしっかり密着したことを確認してから、EZクリップを確実にロックするようにして下さい。



2 ホースアダプターに取り付けたホースの付け根の部分に、ホースクランプをしっかりと確実に固定します。



III ホースアダプターの取り付け・取り外し

取り付け①
ホースアダプターをモーターヘッドに装着するには、「カチッ」と音がするまで、ゆっくりしっかりと確実にめ込みます。この時、シャットオフレバーは必ず「OFF」の位置にしてください。レッドセーフティキャッチにはさわらないで下さい。

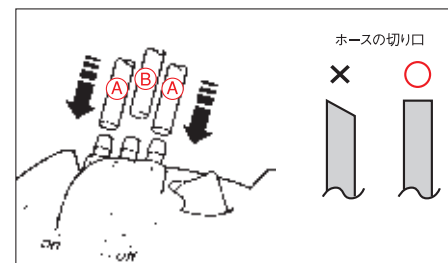
取り付け②
ホースアダプターのシャットオフレバーを「ON(開く)」の方向にいっぱいまで傾けます。これでホースアダプターがモーターヘッドにロックされると同時に、吸水口と排水口が完全に開放されます。シャットオフレバーが「ON」の位置に移動しない場合は無理をせず、ホースアダプターを外し、もう一度装着し直して下さい。



II 吸水ホースと排水ホースの取り付け

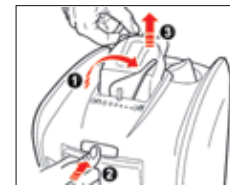
※ 以下の作業は、2080本体からホースアダプターを取り外した状態で行なうことも可能です。

1 ホースアダプターの吸水口(左右A)と排水口(中央B)にそれぞれホースを取り付けます。このとき、ホースは吸水口や排水口の付け根まできっちりねじ込むようにして下さい。また接続するホースは、斜にならないよう、まっすぐに切って下さい。



取り外し
まずプラグを抜いて電源を切ります。それから、ホースアダプターを図中の手順で操作して2080本体から取り外します。

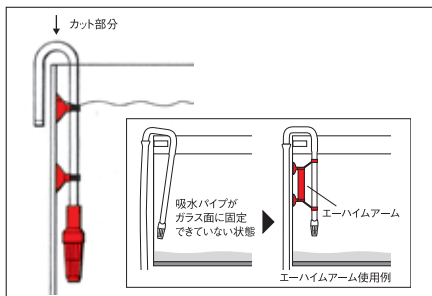
- 1 シャットオフレバーを「OFF」の位置にする
- 2 レッドセーフティキャッチを押す
- 3 ホースアダプターを外す(真上方向)



Ⅳ 吸水部と排水部のセットのしかた

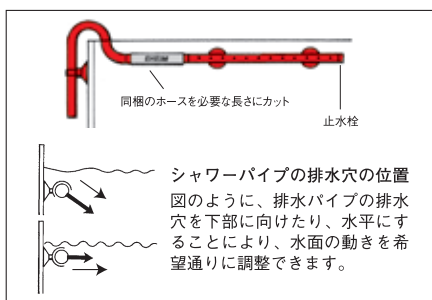
① 吸水部のセット

吸水パイプとストレーナーを接続し、水槽壁面にクリップ付吸着盤で取りつけます。水槽フレームにより吸水パイプが傾いてしまう場合は、別売りのアーム(4004560)をご使用下さい。また水槽フレームの巾が大きすぎて吸水パイプがセットできない場合は、図の矢印部をカットしてホースを接続して下さい。カット部はケガをしないように、処理して下さい。折れ曲がる場合にはエルボーコネクター(P28参照)をご使用下さい。吸水パイプが長い場合、底砂から5cm以上の位置を目安にカットして下さい。

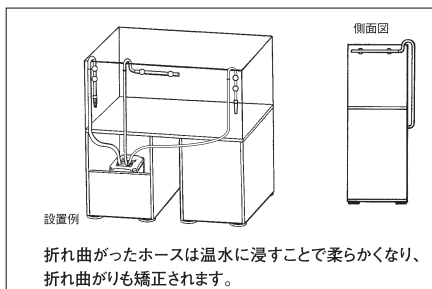


② 排水部のセット

図のようにオーバーフローパイプとシャワーパイプをホースによって接続し、止水栓をセットしてから、クリップ付吸着盤で取り付けます。



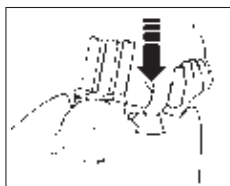
③ 吸水と排水のホースは、ホースが折れたり、たわまない(また、パイプから抜けないよう)に吸水パイプやシャワーパイプに接続します。



Ⅴ 呼び水のしかた

必ずシャットオフレバーが「ON」の位置になっていることを確認して下さい。

電源を切った状態で、呼び水レバーをしっかりと奥まで押し込みます。するとフィルターケース内に水槽から水が導かれます。そして、排水ホースの中の水が水槽の水位と同じまで上昇し、フィルターケースが満水になったことが確認できたら、プラグをコンセントに差し込んで2080を作動させます。なお、2080を作動させてから30分ほどの間は、正常に作動しているか、また、各部に水漏れはないかを必ずチェックして下さい。



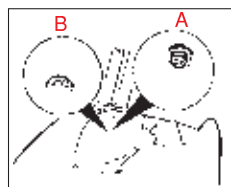
⚠ よび水が終了するまで電源プラグをコンセントに入れないで下さい。

Ⅵ フローインジケータの動作確認

① シャットオフレバーを徐々にゆっくりと「OFF(閉じる)」の方向に傾けていきます。



② すると、赤い円盤状のフローインジケータが下図Aの状態からBの状態になって、水流が遮断されたことが確認できます。2080を作動させているにもかかわらず、フローインジケータがBのような状態を示していたら、水が流れていない証拠なのでその原因を調べます。また、ろ材の汚れによって流量が低下した場合も、フローインジケータはBの状態近くになりますので、メンテナンスを目安とすることができます。なお、通常作動時にはシャットオフレバーは必ず「ON(開く)」の方向にいっぱいまで傾けてご使用下さい。

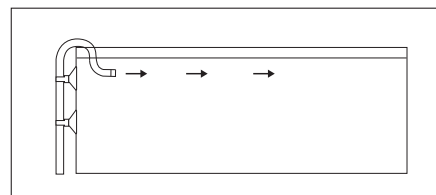


Ⅶ 排水が強すぎる場合の対策

水流を弱くしたい場合は、下記いずれかの方法で対策して下さい。

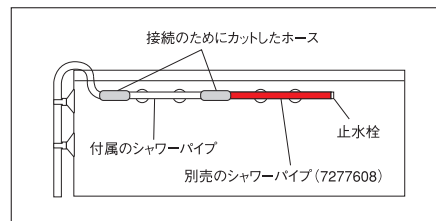
<オーバーフローパイプでの排水>

シャワーパイプを使わずに直接オーバーフローパイプから排水させます。この場合、水流がシャワーからの噴射水流ではなく大きな流れの循環水流となります。



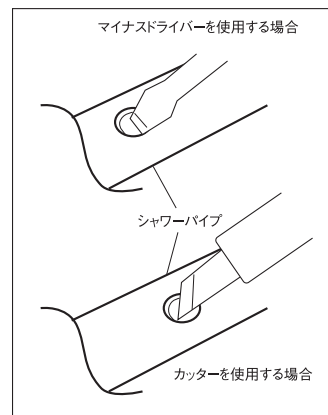
<シャワーパイプの増設>

付属のシャワーパイプの先に別売のシャワーパイプを接続し、シャワーパイプを延長することで穴の数を増やして水流を弱めます。延長したシャワーパイプが長い場合は、適当な長さにカットして下さい。



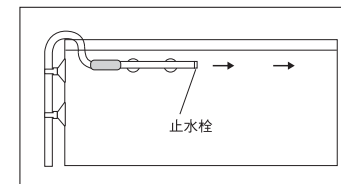
<シャワーパイプ穴の拡張>

シャワーパイプの穴を拡張します。カッターナイフやマイナスドライバーのエッジ部分を使ってシャワーパイプの穴をえぐり好みの大きさに拡張させます。1度拡張した穴は元に戻せないで、こまめな調整を行いながら作業して下さい。なお作業時には怪我をしないようにくれぐれもご注意して下さい。



<シャワーパイプ止水栓を外す>

シャワーパイプの先にある止水栓を外します。これによりシャワーからの噴射水流をなくすことができます。



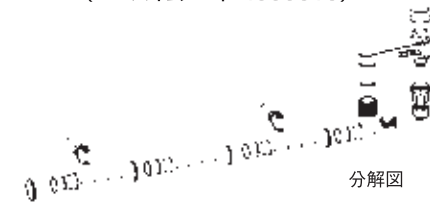
<インсталーションセット②での排水>

別売のインсталーションセット②(4005310)を購入しシャワープラグ(長さ11cm)を拡張してご使用下さい。

インсталーションセット②
(ホース径: 16/22mm)



(エーハイムコード 4005310)

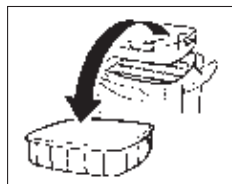


以上いずれの方法でも毎時の流量は変化しません。

VIII 日常の手入れ

<プレフィルターの掃除>

もっとも汚れやすいプレフィルターは、飼育条件を考慮して定期的に掃除して下さい。そのときには、付属のプレフィルターコンテナ移動用トレイを使用すると、床などに水をこぼさずに済みます。満水状態のプレフィルターは重いので、取り扱いにはご注意ください。なお、プレフィルターコンテナに入っている粗目フィルターパッドは、洗浄して再使用を2~3回繰り返したら、新品と交換して下さい。また、プレフィルターの掃除の際には、ついでにろ材固定板を外して細目フィルターパッドの汚れ具合も確認して下さい。もし汚れがひどいようなら新品と交換して下さい。



△ 細目パッドは洗浄しての再利用はできません。新しいものと交換して下さい。

<インペラー部の掃除>

① モーターヘッド裏側の下部カバー、スピンドル受、スピンドルを取り出し、よく洗浄します。スピンドルは折れやすいので折損には注意して下さい。



② インペラーの羽根をラジオペンチなどで軽くつまんで取り出し、よく洗浄します。このとき、ラジオペンチを強く握るなどして羽根を傷つけないように注意して下さい。

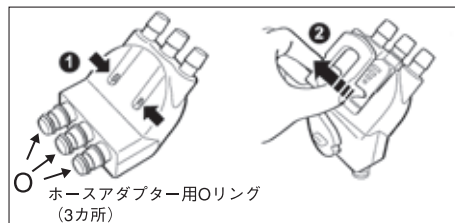


③ モーターヘッドのインペラー挿入部全体をインペラーブラシ(4009570)でよく掃除し、その後、全体を元通りに組み立てます。



<ホースアダプター部の掃除>

① ホースアダプターの裏側のセーフティーキャッチ(①図)を左右から軽く押しながら、フローインジケーターカバー(②図)を取り外します。



△ ホースアダプター用Oリングが正しく取り付けられているか、劣化や汚れがないか点検して下さい。

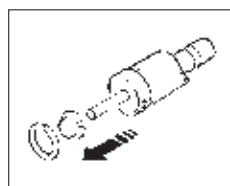
② フローインジケーターカバーを取り外します。



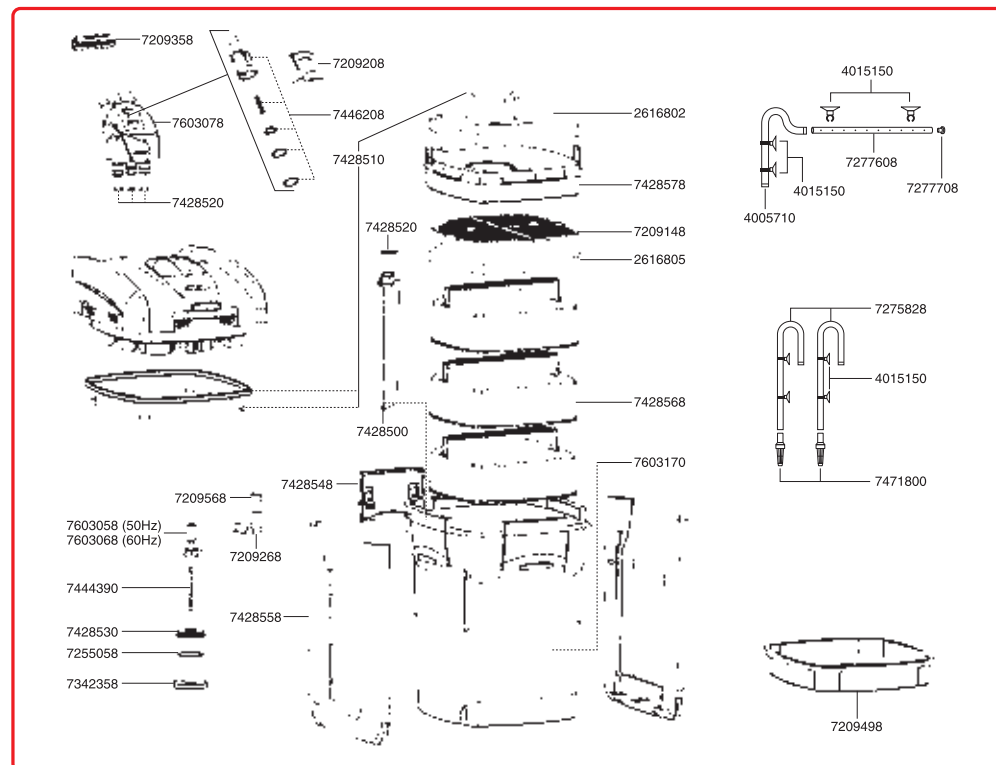
③ フローインジケーター本体を取り外します。



④ フローインジケーターの内部の部品を取り出し、すべてをよく洗浄します。このときは小さな部品の紛失に特にご注意ください。また、内蔵されているスプリングを無理に延ばしたり縮めたりするとフローインジケーターが正常に作動しなくなりますのでご注意ください。



2080 主要部品図



モーターヘッド部

エーハイムコード	品名
7209358	ホースクランプ 2080用
7603078	ホースアダプター 2080用
7446208	フローインジケーター 2080用
7209208	インジケーターカバー 2080用
7428520	ホースアダプター用Oリング 2080用
7428510	フィルターケースOリングセット 2080用
7603058	インペラー 50Hz
7603068	インペラー 60Hz
7444390	スピンドル/ラバー
7428530	スピンドル受け 2080用
7255058	モーター部Oリング
7342358	下部カバー 2080用
7209568	排水コネクタ 2080用
7209268	排水コネクタエルボ 2080用

フィルターパッド(エーハイム2080専用ろ材)

エーハイムコード	品名
2616802	フィルターパッドセット ・粗目パッドプレフィルター用1枚 ・細目パッド4枚入
2616805	細目フィルターパッド 3枚入

フィルターケース部

エーハイムコード	品名
7428578	プレフィルターコンテナ 2080用
7209148	ろ材固定盤 2080用
7428568	ろ材コンテナ 2080用
7428548	EZクリップ(ダブル) 2080用
7428500	パーティションパイプ(Oリング付) 2080用
7603170	フィルターケース 2080用
7428558	フィルターケースカバー 2080用
7209498	プレフィルター移動用トレイ

吸・排水部

エーハイムコード	品名
7275828	吸水パイプ 2080用
7277608	シャワーパイプ
7277708	止水栓 シャワーパイプ用(2ヶ入)
4005710	オーバーフローパイプ
7471800	ストレーナー

2075/2073/2071 本製品の特徴／製品仕様

【呼び水レバー】



呼び水レバーを押すことにより、フィルターケース内に呼び水を作ることができます。

【ポンプヘッド固定用クリップ】



従来のものに比べてクリップ本体が大きくなり、ロック操作が容易になりました。

【ホースアダプター】



吸排水の両方のホースをホースアダプターにまとめて接続する事で、モーターヘッドとホースの着脱が容易に行えます。

【プレフィルターコンテナ】



フィルターケースにセットされたろ材コンテナ最上部がプレフィルターコンテナなので、小規模な掃除の際にはプレフィルターコンテナだけを簡単に取り出せます。(P15水流の模式図参照)

【吸水サポート部】

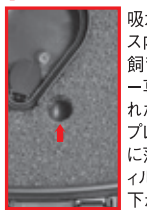


プレフィルター専用粗目パッドを透過して、まずは粗いゴミをこし取られた「汚れた飼育水」は、ここからフィルターケース最下部へと導かれます。



写真は 2075

【吸水受け入れ孔】



吸水口からフィルターケース内に導かれた「汚れた飼育水」は、プレフィルター専用粗目パッドに開かれたこの孔から、いったんプレフィルターコンテナ底に落ち込み、続いてプレフィルター専用粗目パッドを下から上へと透過します。

【逆流防止弁】



ろ過が終わって「きれいになった飼育水」を送り出すポンプの下には、「きれいになった飼育水」が一方通行でポンプに送られるように、逆流防止弁が付いています。

機種	エーハイム プロフェッショナル3 2075		エーハイム プロフェッショナル3 2073		エーハイム プロフェッショナル3 2071	
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
エーハイムコード	2075330		2073330		2071330	
流量	1150ℓ/h	1250ℓ/h	1150ℓ/h	1250ℓ/h	1000ℓ/h	1150ℓ/h
最大揚程	1.45m	2.0m	1.45m	2.0m	1.2m	1.7m
定格電圧	100V (ヘルツ共用)		100V (ヘルツ共用)		100V (ヘルツ共用)	
消費電力	15W	20W	15W	20W	9W	13W
ホース径	吸・排水ともに 16/22mm		吸・排水ともに 16/22mm		吸・排水ともに 16/22mm	
ろ過槽	9.2リットル		7.4リットル		6.1リットル	
ろ材コンテナ	1.5リットル×4個 0.5リットル×1個(プレフィルター)		1.5リットル×3個 0.5リットル×1個(プレフィルター)		1.5リットル×2個 0.5リットル×1個(プレフィルター)	
付属ろ材	プレフィルター用粗目パッド 細目パッド サブストラット プロ レギュラー メックプロ バイオメック		プレフィルター用粗目パッド 細目パッド サブストラット プロ レギュラー メックプロ バイオメック		プレフィルター用粗目パッド 細目パッド サブストラット プロ レギュラー メックプロ	
本体寸法(mm)	244×238×453 (H)		244×238×398 (H)		244×238×358 (H)	
対象水槽	90～150cm (約157～345ℓ)		75～90cm (約114～157ℓ)		75～90cm (約114～157ℓ)	
用途	淡水・海水両用		淡水・海水両用		淡水・海水両用	

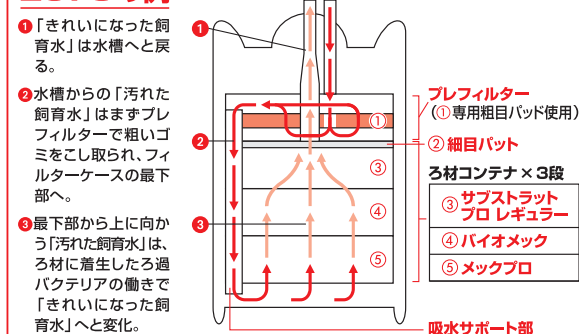
2075/2073/2071 内部模式図／設置場所／セット時のご注意

従来の外部式フィルターでは、すべてのろ材を取り出してから掃除を行っていました。

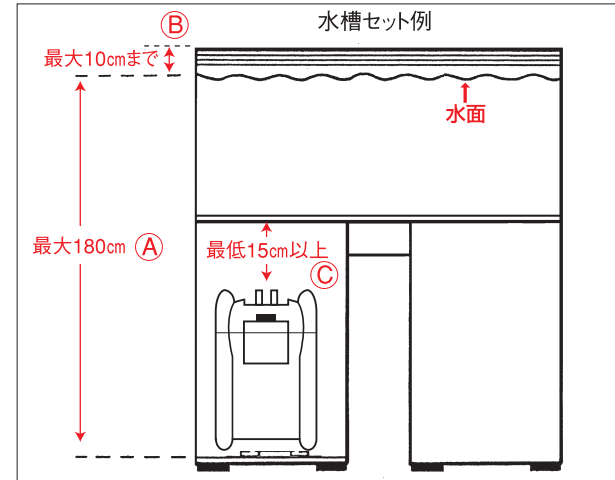
ところが**エーハイムプロフェッショナル3 2075/2073/2071**では、これまでの外部式フィルターとは異なり、フィルターケースの最上部にプレフィルターがセットされています。そのため、他のろ材には手を付けることなく、プレフィルターだけを簡単に取り出して洗浄することができます。

このように、エーハイム2078/2076/2080/2075/2073/2071/エココンフォートプロ2036/2034ではプレフィルターでゴミを取り除くため、大きなゴミが直接ろ材へ進入することを防ぎ、**ろ材の掃除(メンテナンス)のインターバルが長くなります。**

2073の例



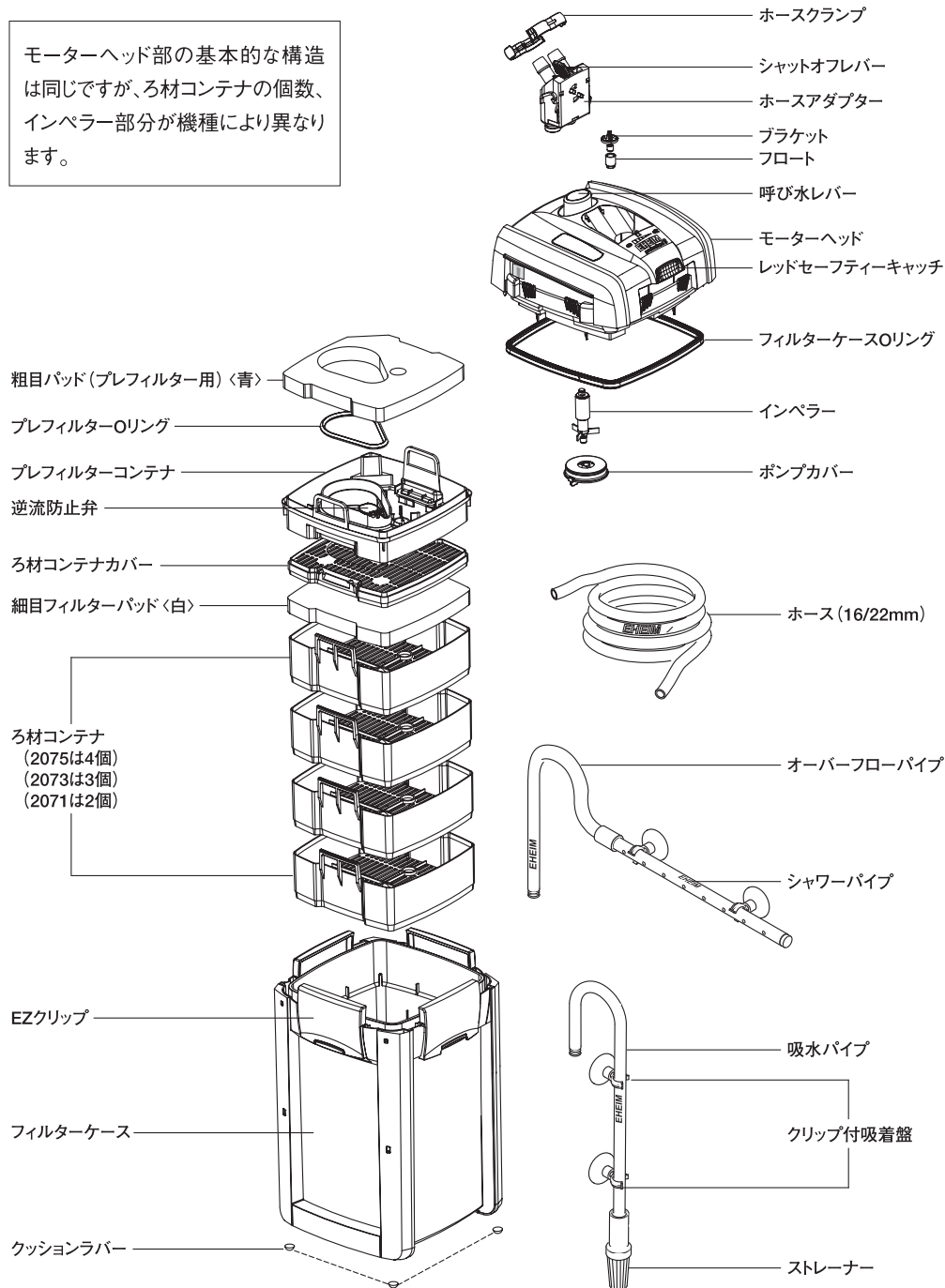
設置場所／セット時のご注意



- フィルターは、傾けて使用したり、寝かせて使用せず垂直にした正しい位置でご使用ください。
- エーハイムフィルターのモーターヘッドの上の部分が水面より10cm以上低くなるように置く場所を決めます。ただし、図のように高低差が最大180cm以内(A)になるようにセットしてください。なお水槽の横にセットされる場合、呼び水機能を実現するため、水槽上縁から水面までの高低差は最大で10cm(B)までとしてください。フィルター本体の高さに対し、ホースの脱着やメンテナンス時の利便性を配慮して最低でもキャビネット内天板と15cm以上(C)の空間を上部に確保してください。
- 同梱のホースが設置場所によっては足りなくなる場合がございます。エーハイム純正ホース(4005940: φ16/22mm)をご使用ください。

2075/2073/2071 各部の名称

モーターヘッド部の基本的な構造は同じですが、ろ材コンテナの個数、インペラー部分が機種により異なります。



2075/2073/2071 パッケージの中をご確認ください。

(2075)

エーハイム フィルター 2075
 ろ材コンテナカバー
 プレフィルターコンテナ
 ろ材コンテナ×4個
 吸水パイプ×1本
 オーバーフローパイプ×1本
 プレフィルター粗目パッド×1枚
 細目パッド×1枚
 シャワーパイプ×1本
 止水栓×1個
 ストレーナー×1個
 クリップ×4個
 吸着盤×4個
 サブストラットプロレギュラー×1.5ℓ
 バイオメック×1.5ℓ
 クッションラバー×4個
 メックプロ×3ℓ

(2073)

エーハイム フィルター 2073
 ろ材コンテナカバー
 プレフィルターコンテナ
 ろ材コンテナ×3個
 吸水パイプ×1本
 オーバーフローパイプ×1本
 プレフィルター粗目パッド×1枚
 細目パッド×1枚
 シャワーパイプ×1本
 止水栓×1個
 ストレーナー×1個
 クリップ×4個
 吸着盤×4個
 サブストラットプロレギュラー×1.5ℓ
 バイオメック×1.5ℓ
 クッションラバー×4個
 メックプロ×1.5ℓ

(2071)

エーハイム フィルター 2071
 ろ材コンテナカバー
 プレフィルターコンテナ
 ろ材コンテナ×2個
 吸水パイプ×1本
 オーバーフローパイプ×1本
 プレフィルター粗目パッド×1枚
 細目パッド×1枚
 シャワーパイプ×1本
 止水栓×1個
 ストレーナー×1個
 クリップ×4個
 吸着盤×4個
 サブストラットプロレギュラー×1.5ℓ
 バイオメック×1.5ℓ
 クッションラバー×4個
 メックプロ×1.5ℓ

エーハイム バイオメックとメックプロのご紹介

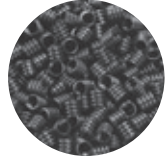
同梱ろ材の内、「サブストラットプロレギュラー」の特徴については5ページをご参照ください。

バイオメック

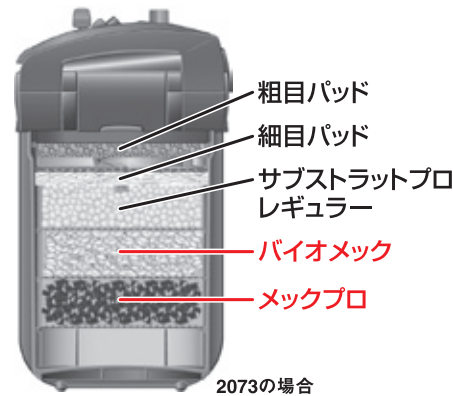


物理ろ過／生物ろ過用ろ材
中央のくぼみがゴミのこし取りを確実にします。
多孔質構造なのでバクテリアの着床に最適で、
バクテリアコロニーを形成するのに最適な条件
です。
淡水海水両用 pH調整済み
※2009年春 単品で発売予定

メックプロ



軽くて取扱いが簡単。
特殊プラスチックにほどこしたユニークな形状が
ゴミをこしとる(物理ろ過)作業を効率的にかつ
確かなものにします。小さなゴミも逃さず、表面
の隆起はバクテリアの着床にも適しております。
淡水海水両用
※2009年春 単品で発売予定



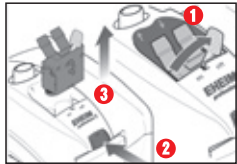
2073の場合

セットの手順、点検・お手入れ (2075/2073/2071共通)

全ての作業は電源プラグをソケット/コンセントより抜いて(はずして)作業してください。

I モーターヘッドの取り外し/ろ材のセット

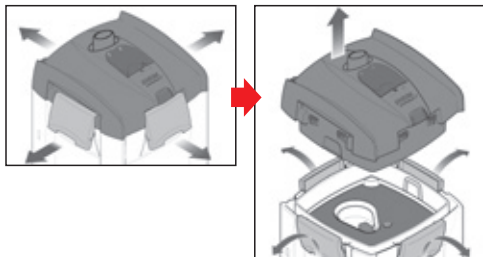
① ホースアダプターの取り外し



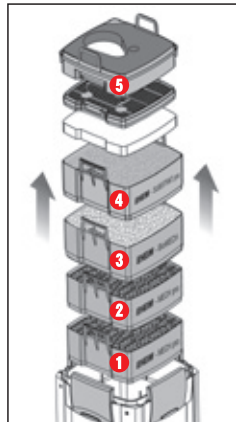
- ① シャットオフレバーを「OFF」の位置にする
- ② レッドセーフティキャッチを押す
- ③ ホースアダプターを外す(真上方向)

② モーターヘッドの取り外し

フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。



③ フィルターケースからろ材コンテナの取り出し



フィルターケースの中から、プレフィルターコンテナ、ろ材コンテナを全部取り出します。

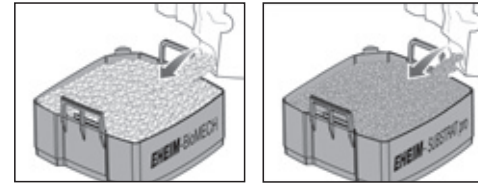
ろ材コンテナには取っ手がついているのでここを持つようにして下さい。

なお、最上段のろ材コンテナにはろ材コンテナカバーが付いた状態となっています。

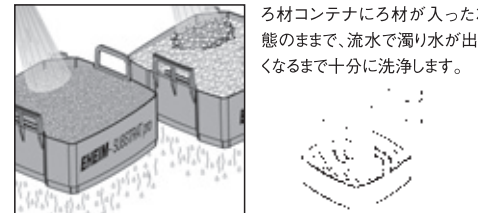
- ⑤ プレフィルターコンテナ
- ④ ろ材コンテナ (2075は4個、2073は3個、2071は2個)
- ①

④ ろ材の洗浄

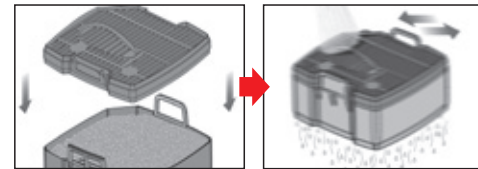
最初に、最上段に入っているろ材コンテナについているろ材コンテナカバーを外します。またろ材の上にある細目パッドを取り出します。



サブストラットプロレギュラーとバイオメックは、ビニール袋に入った状態でろ材コンテナに入っていますので、ビニール袋からだしてろ材コンテナに入れ直します。



ろ材コンテナにろ材が入った状態で、流水で濁り水が出るまで十分に洗浄します。

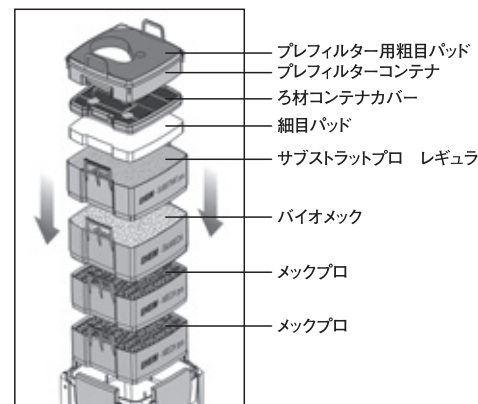


その後、ろ材の入ったろ材コンテナに取り出しておいた細目パッドを乗せてろ材コンテナカバーを取り付けます。この状態で流水の下でろ材コンテナを動かして、再度洗浄します。

(ご注意) 細目パッドをろ材に乗せずにろ材コンテナカバーを取り付けると隙間が出来て、ろ材コンテナを動かして洗浄した時にろ材の崩れが発生する場合がありますので、必ず細目パッドを入れてください)

この作業を全ての各ろ材コンテナについて行います。

⑤ ろ材コンテナ/ろ材のセット (フィルターケースに入れる)



2071の場合 (ろ材コンテナは2個)

フィルターケース内の一番下にエーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。
次にサブストラットプロレギュラーが入ったろ材コンテナに細目パッドを乗せ、ろ材コンテナカバーを付けた状態のろ材コンテナを続けて入れます。

2073の場合 (ろ材コンテナは3個)

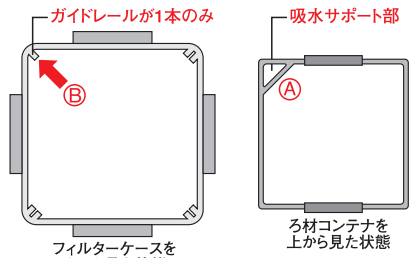
フィルターケース内の一番下にエーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。
次にエーハイムバイオメックの入ったろ材コンテナを続けて入れます。
最後にサブストラットプロレギュラーが入ったろ材コンテナに細目パッドを乗せ、ろ材コンテナカバーを付けた状態のろ材コンテナを続けて入れます。

2075の場合 (ろ材コンテナは4個)

フィルターケース内の一番下にエーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。
次にエーハイムメックプロの入った1個のろ材コンテナを続けて入れます。
次にエーハイムバイオメックの入ったろ材コンテナを続けて入れます。
最後にサブストラットプロレギュラーが入ったろ材コンテナに細目パッドを乗せ、ろ材コンテナカバーを付けた状態のろ材コンテナを続けて入れます。

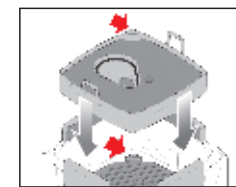
ご注意:別売りの専用活性炭パッド(エーハイムコード2628710、1箱3枚り)を合わせてご使用になる場合は、最上段ろ材コンテナ内の細目パッドの下になる様に重ね入れてご使用下さい。

ろ材コンテナセット時のご注意



ろ材コンテナの吸水サポート部(A)が上図の矢印部(B)の向きになる様にフィルターケース内へセットします

⑥ プレフィルターコンテナのセット



フィルターケースに粗目フィルターパッド(ブルー)を入れたプレフィルターコンテナを入れます。このとき、プレフィルターコンテナと吸水サポート部がしっかりと接続(赤色矢印部分)されているか確認して下さい。

⑦ モーターヘッドの装着

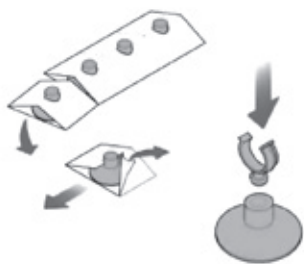


フィルターケースにモーターヘッドを装着します。このとき、Oリングによれがないか、異物が引っかかったり挟まったりしていないか、などをよくチェックし、モーターヘッドとフィルターケースがしっかりと密着したことを確認してから、EZクリップを確実にロックするようにして下さい。

II 吸水部と排水部のセット

1 クリップと吸着盤のセット

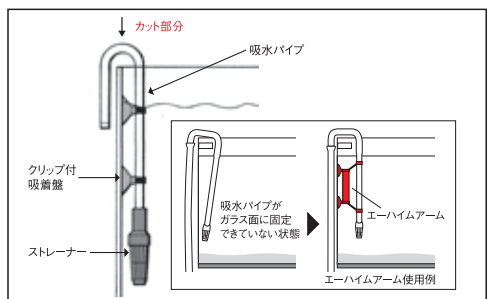
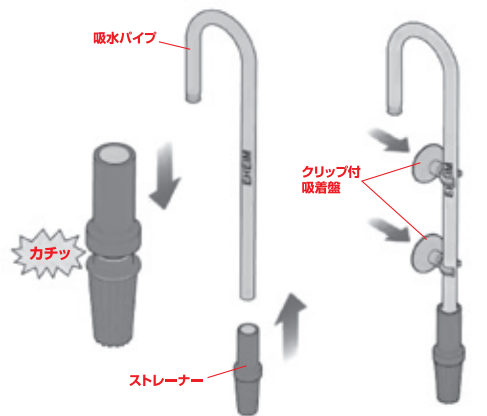
同梱のクリップと吸着盤をイラストの様にセット(4個)します。



2 吸水部のセット

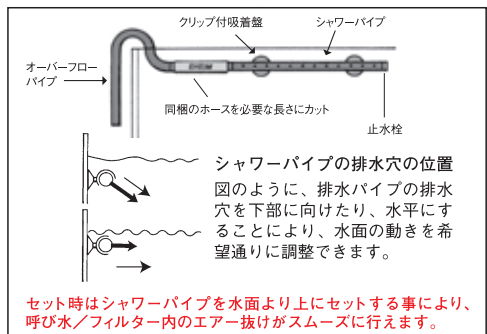
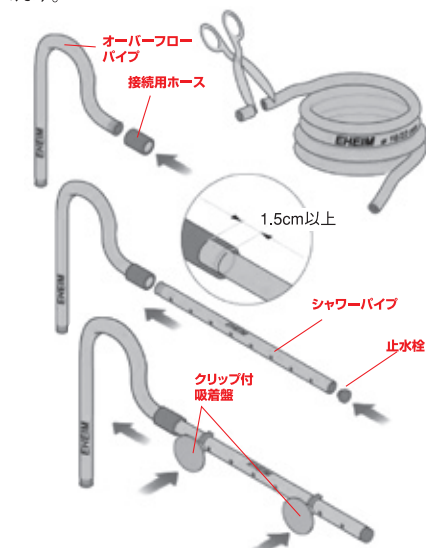
吸水パイプとストレーナーを接続し、水槽壁面にクリップ付吸着盤で取り付けます。

水槽フレームにより吸水パイプが傾いてしまう場合は、別売りのアーム(4004560)をご使用下さい。また水槽フレームの巾が大きすぎて吸水パイプがセットできない場合は、下図の矢印部をカットしてホースを接して下さい。カット部はケガをしないように、処理して下さい。折れ曲がる場合にはエルボーコネクターをご使用下さい。吸水パイプが長い場合、底砂から5cm以上の位置を目安にカットしてご使用下さい。



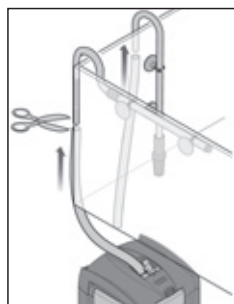
3 排水部のセット

イラストのようにオーバーフローパイプとシャワーパイプを接続用ホースによって接続し、止水栓をセットしてから、クリップ付吸着盤で取り付けます。



III 吸水ホースと排水ホースの取り付け

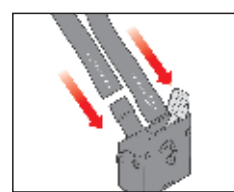
1 ホースのカット



吸水と排水のホースは、折れ曲がりやたわみがないように吸水パイプ、シャワーパイプに合わせてカットします。カットする際はホースの切り口が斜めにならないよう、まっすぐに切ってください。

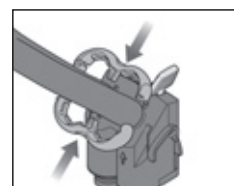


2 ホースをホースアダプターに取り付け



本体正面(ホースアダプターをモーターヘッドにセットした状態)より向かって右側に吸水、左側に排水、それぞれのホースを根元までしっかりと差し込みます。イラストのホースの中の矢印は水流を示し、赤い矢印はホースをアダプターに差し込むことを示しています。この作業はフィルター本体からホースアダプターを取り出した状態で行うことも可能ですが、くれぐれも吸水側、排水側の差し込み違いにご注意ください。

3 ホースクランプの取り付け

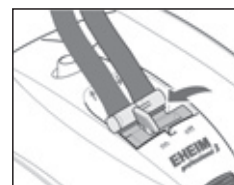


ホースアダプターに取り付けたホースの付け根の部分に、ホースクランプをしっかりと確実に固定します。

IV ホースアダプターのセット

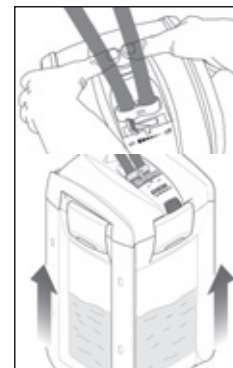


ホースアダプターをモーターヘッドに装着するには、「カチッ」と音がするまで、ゆっくりしっかりと確実にめ込みます。この時、シャットオフレバーは必ず「OFF」の位置にして下さい。レッドセーフティキャッチにはさわらないで下さい。



ホースアダプターのシャットオフレバーを「ON(開く)」の方向にいっぱいまで傾けます。これでホースアダプターがモーターヘッドにロックされると同時に、吸水口と排水口が完全に開放されます。シャットオフレバーが「ON」の位置に移動しない場合は無理をせず、ホースアダプターを外し、もう一度装着し直して下さい。

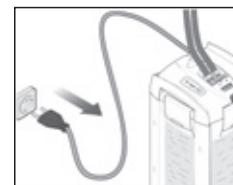
V 呼び水のしかた



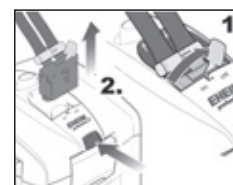
必ずシャットオフレバーが「ON」の位置になっていることを確認して下さい。電源を切った状態で、呼び水レバーをしっかりと奥まで数回押し込みます。するとフィルターケース内に水槽から水が導かれます。そして、排水ホースの中の水が水槽の水位と同じまで上昇し、フィルターケースが満水になったことが確認できたら、プラグをコンセントに差し込んでフィルター本体を動作させます。なお、フィルター本体を動作させてから30分ほどの間は、正常に動作しているか、また、各部に水漏れはないかを必ずチェックして下さい。

VI プレフィルターコンテナの掃除

もっとも汚れやすいプレフィルター部分は、飼育条件を考慮して定期的に掃除してください。



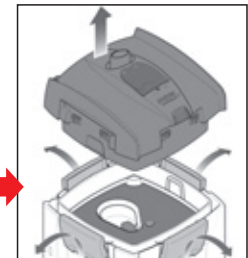
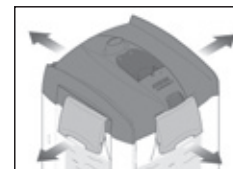
1 電源プラグをコンセント(100V)より抜きます。

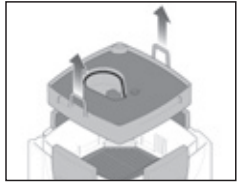


2 シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出します。

3 モーターヘッドの取り外し

フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。





④ プレフィルターコンテナを取り出します。



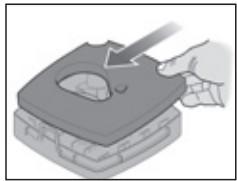
⑤ 粗目フィルターパッド(ブルー)を取り出します。



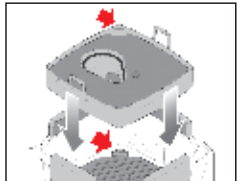
⑥ 粗目フィルターパッド(ブルー)を水洗いします。



⑦ プレフィルターコンテナの中に溜まったゴミや砂等を水で洗い出します。



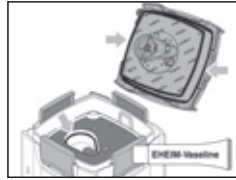
⑧ 水で洗った粗目フィルターパッド(ブルー)を再びプレフィルターコンテナにセットします。
※粗目フィルターパッド(ブルー)は飼育条件によりますが、6ヶ月に1度が交換の目安です。



⑨ プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、吸水サポート部(イラスト内赤色矢印)が合うように向きに注意して入れてください。



⑩ 逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。開閉の向きを確認してください。



⑪ プレフィルターOリング、フィルターケースOリングに汚れ等が付着していましたら、きれいに掃除をしてエーハイムワシリンを塗布してください。

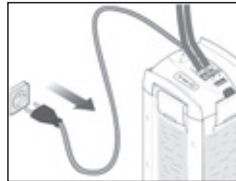


⑫ モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検・お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。



⑬ ホースアダプターを取り付け(ホースアダプターのセットを参照)、呼び水レバーを押して水を呼びこみます。

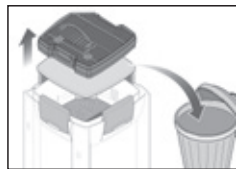
VII ろ材の洗浄



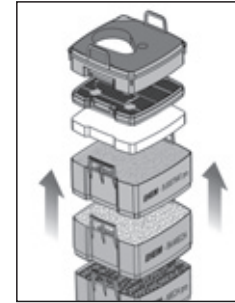
① 電源プラグをコンセント(100V)より抜きます。



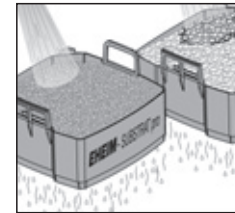
② シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。



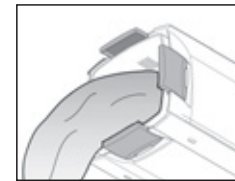
③ 次にプレフィルターコンテナ及びろ材コンテナを全て取り出しますが、最上段ろ材コンテナ内で使用している細目パッドは、ご飼育状況によりますが1ヶ月に1度の交換が目安となります。細目パッドは揉み洗い等の洗浄を行うと、へたりなどの劣化を促進する事になります為、洗浄は行わずに交換のみとなります。



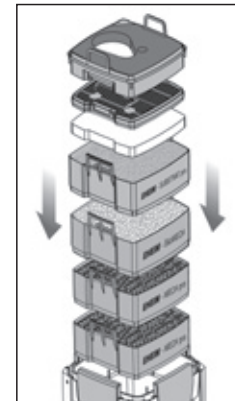
④ ろ材コンテナを順番に取り出します。



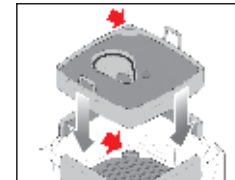
⑤ ろ材を流水で軽く洗います。



⑥ フィルターケース内の汚れ等を洗い出し、フィルターケース内を空の状態にします。



⑦ 洗浄前と同じ順番でフィルターケース内に、ろ材コンテナ、細目フィルターパッド(ホワイト)、ろ材コンテナカバーをセットします。
※細目フィルターパッド(ホワイト)は飼育条件によりますが、1ヶ月に1度が交換の目安です。



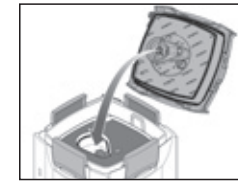
⑧ プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、吸水サポート部(イラスト内赤色矢印)が合うように向きに注意して入れてください。



⑨ 逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。開閉の向きを確認してください。



⑩ プレフィルターOリング、フィルターケースOリングに汚れ等が付着していましたら、きれいに掃除をしてエーハイムワシリンを塗布してください。



⑪ モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検・お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。

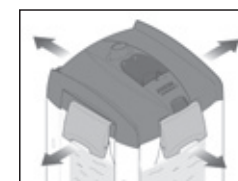


⑫ ホースアダプターを取り付け(ホースアダプターのセットを参照)、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。

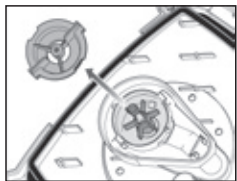
VIII インペラー部分の掃除



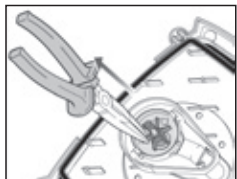
① 電源プラグをコンセント(100V)より抜きます。



② シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。



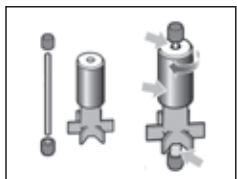
③ ポンプカバーを左に回して外します。



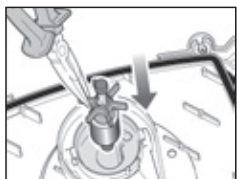
④ ラジオペンチ等でインペラー部を取り出します。



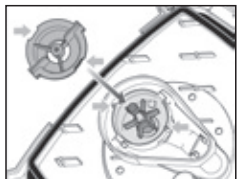
⑤ インペラーやその周りの部分には、エーハイムインペララシを使用して水アカやゴミを取り除きます。



⑥ 分解したインペラー、スピンドル、スピンドルラバーをセットする時は、マグネット部分を左右に回してスムーズに動く事を確認してください。



⑦ 掃除が終わりましたら、同様にラジオペンチ等でインペラーを元の位置に戻します。

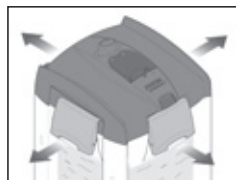


⑧ ポンプカバーを右に回しながら取り付けます。

IX フロートの掃除



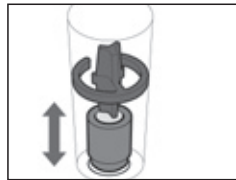
① 電源プラグをコンセント(100V)より抜きます。



② シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。



③ ラジオペンチ等でブラケット、フロートを取り出し良く洗います。



④ 洗浄が終わったブラケットとフロートは元の状態にセットします。

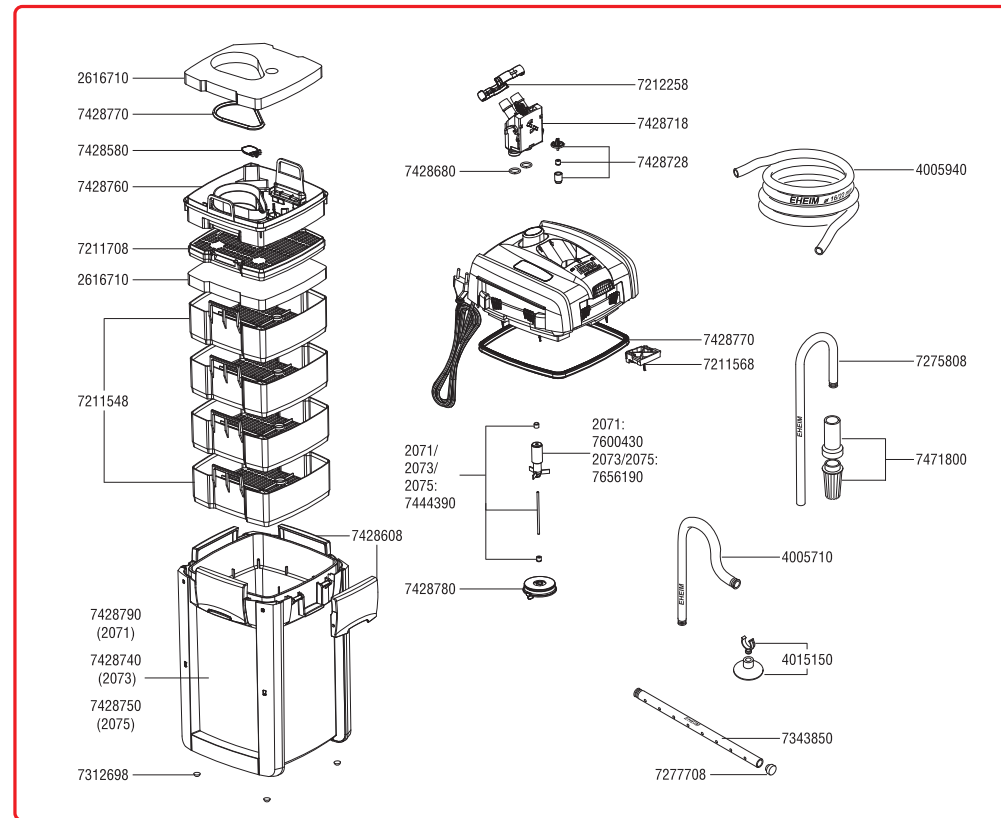


⑤ モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検・お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。



⑥ ホースアダプターを取り付け(ホースアダプターのセットを参照)、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。

2075/2073/2071 主要部品図



モーターヘッド部

エーハイムコード	品名
7211568	モーターヘッド止水カバー
7212258	ホースクランプ
7428680	ホースアダプター用Oリング
7428718	ホースアダプター
7428728	フロートセット
7428770	Oリングセット
7428780	ポンプカバー
7444390	スピンドル/ラバー
7600430	インペラー-2071用
7656190	インペラー-2073/2075用

フィルターケース部

エーハイムコード	品名
7211548	ろ材コンテナ
7211708	ろ材コンテナカバー
7312698	クッションラバー
7428580	逆流防止弁
7428608	EZクリップ
7428740	フィルターケース(サイドカバー付き) 2073用
7428750	フィルターケース(サイドカバー付き) 2075用
7428760	プレフィルターコンテナ
7428790	フィルターケース(サイドカバー付き) 2071用

吸・排水部

エーハイムコード	品名
4005710	オーバーフローパイプ
4005940	ホース(16/22mm)
4015150	クリップ付き吸着盤
7275808	吸水パイプ
7277708	止水栓
7343850	シャワーパイプ
7471800	ストレーナー

フィルターパッド(2075/2073/2071専用)一別売

エーハイムコード	品名
2616710	フィルターパッドセット ・粗目パッドプレフィルター用1枚 ・細目パッド4枚入
2628710	交換用活性炭フィルターパッド(3枚入り)

エーハイム ジャパンホームページ <http://www.eheim.jp>

比較テスト、機種別分解図、各種取扱説明書、アクセサリ別の使用方法や分解図などご覧になれます

2080/2075/2073/2071 共通 故障かな?と思ったら

● モーターヘッドをフィルターケースに装着することができない (EZクリップにて閉めることができない)

原因	処置方法
フィルターケース内に入れるものが間違っている。	正しく入れ直す。
ろ材が入り過ぎている。	ろ材を適正な量に調整する。
プレフィルターコンテナとパーティションパイプが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。
Oリングが正しく収まっていない。	Oリングを正しい位置にセットし直す。 また、水漏れの原因となるのでOリングの破損や傷も合わせてチェックする。

● モーターヘッドとフィルターケースの間での水漏れ

原因	処置方法
EZクリップが正しくロックされていない。	4つあるEZクリップそれぞれを正しく確実にロックする。
OリングやOリングが噛み合う溝などが汚れていたり異物を挟んでいる。	汚れや異物を取り除き、Oリングの破損や傷も合わせてチェックする。 Oリング保護のためのエーハイムワセリン(7345988)を塗布する。
Oリングがちゃんと収まっていなかったり、破損しており水密効果を失っている。	正しい位置にセットし直す。もし破損していればOリングを交換する。

● モーターが動かない

原因	処置方法
電源が入っていない。	プラグをコンセントに差し込む。
スピンドルの折損。	スピンドルを交換する。
インペラーがセットされていない。 あるいはインペラーが砂粒や貝などでロックされている。	インペラーをセットする。インペラーがロックする原因を取り除く。

● シャットオフレバーが引っかかる

原因	処置方法
シャットオフレバーの動きがぎつくなっている。	シャットオフレバーの可動部と白いOリングにエーハイムワセリン(7345988)を塗布し、数回動かして滑らかに動くようにする。

● 呼び水ができない

原因	処置方法
プレフィルターコンテナ内の逆流防止弁が正しく取り付けしていない。	逆流防止弁を正しく取り付けする。
プレフィルターコンテナに水が入っている。	プレフィルターコンテナに水が入っていると呼び水できないので、プレフィルターコンテナから水を抜いて再度呼び水をする。

● 片方の吸水パイプからしか吸水していない (2080のみ)

原因	処置方法
水面とフィルターモーターヘッドの高低差が50cm以下である	2080を動作させた状態で水槽の中に手を入れ、吸水しているほうの吸水パイプのストレーナーを外し、吸水パイプの先端を指で一時的に塞ぐ。こうして吸水していないほうの吸水パイプが水を吸い込むようになったら、ストレーナーを戻して元通りにセットする。 または、吸水している方の吸水ホースを指ではさんでつぶし、一時的に水の流通を止め、吸水していなかった方の吸水パイプからの吸水が始まったら、水の流通を止めた方のホースを元の状態に戻す。

● 流量の大幅な低下

原因	処置方法
シャットオフレバーが正しい位置「ON」にセットされていない。	正しい位置にセットする。
ホースアダプターの内部が汚れている。	ホースアダプターの内部を排水口や吸水口からパイプクリーナー(4005551)を使ってよく洗浄する。
ホースが折れたりつぶれたりしている。	ホースの折れた箇所やつぶれた箇所を修復する。
ホースの内部がひどく汚れたり詰まったりしている。	ホースクリーナー(4006570)を使ってホースの内部をよく洗浄する。
片方の吸水パイプからしか吸水していない。(2080のみ)	2080を動作させた状態で水槽の中に手を入れ、吸水しているほうの吸水パイプのストレーナーを外し、吸水パイプの先端を指で一時的に塞ぐ。こうして吸水していないほうの吸水パイプが水を吸い込むようになったら、ストレーナーを戻して元通りにセットする。 または、吸水している方の吸水ホースを指ではさんでつぶし、一時的に水の流通を止め、吸水していなかった方の吸水パイプからの吸水が始まったら、水の流通を止めた方のホースを元の状態に戻す。
ストレーナーがゴミなどで詰まっている。	ストレーナーを掃除してゴミを除去する。
ろ材やろ材コンテナなどがきわめて汚れている。	ろ材やろ材コンテナなどを洗浄して汚れを除去する。
ろ材をネットバッグに入れてからろ材コンテナに入れた。	ネットバッグを使用しない。
間違ったろ材を使用している。	正しいろ材に入れ替える。
ろ材の配置の順番が間違っている。	正しい順番に直す。
細目フィルターパッドの入れ方を間違っている。	細目パッドはろ材コンテナの上にセットする。
フィルターパッドが汚れている。	フィルターパッドを洗浄するか新品と交換する。
モーターヘッドのインペラー挿入部やインペラーなどが汚れている。	掃除する。
ホースやろ材などが汚れていないにもかかわらず流量が著しく低下した。	本体内部に空気が溜まり、それが流量を低下させる原因となることがあるので、数回プラグの抜き差しをしたり、本体を軽くゆすったりして空気抜きをする。それでも変化がない場合はエーハイム販売店またはサービスセンターにご相談下さい。

● エアがみが治らない (フィルター内に空気が残っている/入っている)

原因	処置方法
設置場所。	最低でもその本体上端が水槽の水位より10cm下になるように設置する。理想的には水槽の下に設置する。
ホースから空気を吸い込んでいる。	リークがないかホースの接続部をすべてチェックし、リークを解消する。
ディフューザーからの微細な気泡を吸い込んでいる。	ディフューザーの設置位置を変えてストレーナーから気泡を吸い込まないようにする。またはディフューザーの使用をやめる。
ろ材やろ材コンテナなどがきわめて汚れている。	ろ材やろ材コンテナなどを洗浄して汚れを除去する。
ろ材をネットバッグに入れてからろ材コンテナに入れた。	ネットバッグを使用しない。
ストレーナー近くでエアレーション(エアポンプ)している。	エアがストレーナーに入らないよう、遠ざけて下さい。

※上記に該当しない場合は、エーハイム販売店またはエーハイムサービスセンターにご相談下さい。

※エーハイムプロフェッショナル3 2080はヘルツ別に製造されていますので、ヘルツの異なる地域でのご使用はおやめ下さい。

ご注意!

- 品質向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。
- 誤ったご使用方法に起因する損害につきましては責任を負いかねます。
- 飼育されている魚など生体の病気や死亡、水草の枯れに対する補償は致しかねます。予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

プロフェッショナル3 シリーズ 適合アクセサリー表

	アイテム名	
	上段左 2080 用	上段右 2075 用
	下段左 2073 用	下段右 2071 用
	ホース (1mにつき) (吸排水同じ)	
	4005940	4005940
	4005940	4005940
	ホース (3m巻き) (吸排水同じ)	
	4005949	4005949
	4005949	4005949
	ダブルタップ	
	4005410	4005410
	4005410	4005410
	タップ	
	4005510	4005510
	4005510	4005510
	エルボーコネクター	
	4015100	4015100
	4015100	4015100
	クリップ付き吸着盤	
	4015150	4015150
	4015150	4015150
	プラスチックパイプ	
	4005800	4005800
	4005800	4005800
	オーバフローパイプ	
	4005710	4005710
	4005710	4005710

	アイテム名	
	上段左 2080 用	上段右 2075 用
	下段左 2073 用	下段右 2071 用
	ディフューザー	
	4005651	4005651
	4004651	4004651
	ホースバンド	
	4005530	4005530
	4005530	4005530
	パイプクリーナー	
	4005551	4005551
	4005551	4005551
	ホースクリーナー	
	4006570	4006570
	4006570	4006570
	インベラーブラシ	
	4009570	4009570
	4009570	4009570
	T-ジョイント	
	4005950	4005950
	4005950	4005950
	油膜取り	
	3535100	3535100
	3535100	3535100
	エーハイムワセリン	
	7345988	7345988
	7345988	7345988

交換用フィルターパッドセット

フィルターパッドセット (プレフィルター用粗目パッド1枚、細目パッド4枚)	
	2616802
	2616710
	2616710

交換用活性炭フィルターパッド (3枚入り)	
	2628710
	2628710

本取扱説明書は著作権法上の保護を受けています。本データの一部あるいは全てのデータは、エーハイムジャパン(株)からの許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製、加工、転用することは禁じられています。

Copyright(C)2008 EHEIM JAPAN. Allrights Reserved.

製造元: EHEIM GmbH&Co.KG.

輸入発売元: **エーハイム ジャパン株式会社**

住所: 〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6 ワールドビジネスガーデン マリブイースト

【修理・保証サービスなど製品に関するお問い合わせ】

エーハイムサービスセンター (平日10:00~12:00、14:00~16:00 土・日・祝祭は休み)

TEL:043-297-3901 FAX:043-297-3531 Eメールアドレス service.center@eheim.co.jp

総合カタログご希望の方はエーハイムサービスセンターまでメール又はFAXでお申し込み下さい。

エーハイム ジャパンホームページ <http://www.eheim.jp>

比較テスト、機種別分解図、各種取扱説明書、アクセサリー別の使用方法や分解図などご覧になれます